



令和4年度

高齢者の

摂食嚥下障害支援研修

食べることは生きること！

最後まで「食べる」を支援できる知識・技術を習得しよう



令和4年12月15日（水）

～令和5年1月27日（金） 全5日間

対面授業（講義・演習）・オンライン・オンデマンドによる開催

※裏面詳細

**対象：高齢者介護にかかわっている保健・医療・福祉分野の
従事者のうち全日程出席できること。また、パソコンが
タブレットが活用できること（講義視聴、資料作成のため）。**

問い合わせ先 神奈川県立保健福祉大学 241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1

実践教育センター

TEL 045-366-5891

高齢者の摂食嚥下障害支援研修担当

詳しくは、本センターHP（<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>）をご覧ください。



募集人員：30 名程度

申込方法：当センターHP 内フォームメール

申込期間：令和 4 年 10 月 3 日（月）～10 月 31 日（月）

受講経費：10,000 円（税込み）

プログラム

回	日 時	実施方法	内 容	講 師
1	12/15 （木）	対面 実践教育センター	開講 オリエンテーション	研修担当
			・摂食嚥下機能のメカニズム 食べるメカニズムとその働きについて	日本歯科大学生命歯学部 客員教授 石井 良昌
			口腔ケアの問題点を知り、 的確なアプローチについて	東名厚木病院摂食嚥下療法科課長 西川 利恵
			摂食嚥下障害者への 基礎的アプローチ	日本医科大学多摩永山病院 リハビリテーション室主任 黄金井 裕
			グループディスカッション	研修担当
2	12/16（金） ～12/23（金）	オンデマンド	摂食嚥下障害を有する要介護高 齢者への包括的スキル	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長 小山 珠美
	12/23 （金）	オンライン	摂食嚥下障害者への栄養管理 と食事の対応	地域栄養ケア PEACH 厚木 代表 江頭 文江
3	1/13 金	対面 実践教育センター	口腔ケアの実際（演習）	西川 利恵（職位略）
			食事援助の実際（演習）	小山 珠美（職位略） KTSM 実技認定者・看護師 石黒 慎一
			情報共有	研修担当
4	1/20 金	対面 実践教育センター	演習 課題（事例）検討	小山 珠美（職位略）
5	1/27 金	対面 実践教育センター オンライン	演習 課題（事例）検討 発表準備	小山 珠美（職位略）
			事例発表会 講評	
			閉講 のあいさつ	研修担当

※感染拡大にともなって、対面授業からオンライン授業に変更する場合があります。
内容も予告なく変わる場合があります。ご了承ください。



令和4年度高齢者の摂食嚥下障害支援研修募集要項

1 目 的

口から食べることは、生きる喜びであり、生活の質に大きく影響を及ぼすことです。高齢者の食の問題である摂食嚥下機能障害に焦点を当て、対象者の特性に合わせた的確なケア・リハビリテーションを実施するため、多職種やチームによる包括的介入について学ぶとともに、将来リーダーとしての役割が発揮できるよう必要な知識を学び、口腔ケア・食事援助の実際を体験します。

2 開催期間

令和4年12月15日（木）～令和5年1月27日（金）全5日間

3 開催方法

対面授業、オンライン（Zoom ミーティング）及びオンデマンド（YouTube 等）により実施します（別紙参照）。

4 受講対象

高齢者介護に関わっている保健・医療・福祉分野の従事者であって、次に掲げるア、イの全てを満たす者

ア 全日程出席できること

イ 下記5「受講条件」を満たすこと

5 受講条件

（1）オンライン講義に臨むに当たり次の条件を満たすこと

ア パソコン又はタブレット端末の準備

資料を画面上で確認し、並行して資料作成を行う機会があるため、パソコン又はタブレット端末が必要です（パソコンが望ましいです。）。

資料作成には下記のいずれかを使用して作成することが可能であること。

「Microsoft PowerPoint」・「Microsoft Word」・「Microsoft Excel」

イ 通信環境の確保

オンラインでの実施でありインターネット通信を利用することから、常時接続ができる定額制課金のインターネット通信を確保することを推奨します。定額制課金でない携帯電話やモバイル Wi-Fi の回線を使う場合は、データ使用量により利用料金（パケット通信料）が高額になることがありますのでご注意ください。

なお、通信の安定性確保のため、有線 LAN での接続を推奨します。

（2）事前準備ができること

3 日目に、食事介助の演習があります。コロナ感染拡大の状況からオンラインでの学習となった場合には、スプーン等の食事介助用具及びプリン等の食品を準備していただきます。

詳細に関しては、授業の形式が決まり次第お知らせいたします。

6 募集人員

30名程度

7 研修内容

別紙参照

8 申込期間

10月3日（月）～10月31日（月）

9 申込方法

本センターホームページのフォームメールによる申込み

※「実践教育センターへのお問い合わせ」用フォームメールではありませんのでご注意ください。

10 受講経費

10,000 円（税込）

11 受講決定及び通知

（1）受講決定

申込者が募集人員を超過した場合は、申込者が入力したフォームメールの内容に基づき選考します。選考基準は次のとおりです。

ア 先着順

イ 同一所属からの複数申込は原則として2名までとする。

（2）通知

11月中旬頃に、申込者全員に受講の可否を、受講決定者には合わせて受講経費の納入方法、についてメールで通知します。

12 修了証書の交付

総時間数の5分の4以上出席した者に交付します。

13 その他

ア 講義資料は事前に電子データで配信する予定です。紙面の資料が必要な場合は、各自印刷してください。

イ 5日目の事例発表会について、受講者の所属における理解とチームとしての取組みを推進するため、各受講者から職場関係者への参加呼びかけに御協力をお願いします。

以上